

第2回青森市アリーナプロジェクト有識者会議 議事録

開催日時・場所	平成30年7月18日(水) 15時～16時25分 青森市役所 本庁舎 2階 庁議室
出席者	<p>【委員】小山内敬子委員、柿崎泰明委員、黒田剛委員、慶長大輔委員、小松尚委員、齊藤裕一郎委員、千葉康一委員、西秀記委員、八戸弘委員、舟引敏明委員、三上巽委員 計11名が出席 ※奈良秀則委員は欠席</p> <p>【オブザーバー】 国土交通省東北地方整備局 建政部 都市調整官 佐々木 貴弘 氏 青森県 県土整備部 都市計画課長 岡前 憲秀 氏</p> <p>【ヒアリング招聘者】 青森スポーツクリエイション株式会社 代表取締役 下山 保則 氏 青森県卓球連盟 副理事長 久慈 佐知子 氏</p> <p>【青森市】副市長 前多正博 経済部理事 百田満、経済部次長 横内信満、 地域スポーツ課長 木村久美子 ほか 都市整備部部長 大櫛寛之、都市整備部理事 長井道隆、 都市整備部次長 岡山幸司、都市政策課長 坂牛裕、 公園河川課長 高村功輝 ほか</p>
次第	<p>(1) 開会</p> <p>(2) 案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヒアリング スポーツ関係者の方からのヒアリングを実施 ○類似施設調査報告 事務局から、資料に基づいて類似施設について説明 ○意見聴取 委員等からアリーナに求められる機能について意見聴取 <p>(3) 閉会</p>

(案件の内容)

座長	<p>それでは、次第に従いまして、案件を進めたいと思います。まずは、ヒアリングでございますが、スポーツ関係者から、市民体育館をはじめとする市内の体育館の良い点や課題点、他都市の体育施設を利用して感じた良い点や課題点、またこれらを踏まえた上で、アリーナに求められる機能等について、御意見をいただきたいと思いません。それではお願いいたします。</p>
----	---

スポーツ関係者	<p>試合でマエダアリーナを利用しますが、駅から遠くなかなか公共交通機関で行けないし、子供たちが気軽に行けません。使用料が極めて高く厳しいと思っています。施設面では、デザイン性は高いのですが、ガラス張りのエントランスは、冬は気温が1度か2度で大変寒いので、デザイン重視で、青森県の冬を捉えられなかったと思います。天井も高いので、下の温度がなかなか10度まで上がりません。弘前の武道館は、観客席、コートとのバランスが良く選手からも好評で理想的です。他都市の体育施設では、一番印象にあるのが新潟のアオーレ長岡で、大変明るく何よりも感心したのが床で、傷の付かない素材になっています。最近の体育施設は、競技する人はシューズに履き替えますが、観戦する人は靴を脱ぐ必要がありません。東京都の大田区の体育館は、総合的にみて良い体育館で、色んな施設を見学すると思いますので、候補に入れていただければと思います。函館のアリーナも参考になると思います。機能では、先ほども申し上げたとおり、土足で入れることが今の通例です。三沢のアリーナは、フロアがコルク材なので小石が埋まり、1回で土足禁止になりましたので、床材は十分考慮するべきだと思います。もう一つは、女子トイレで、ハーフタイムの20分間休憩では、どの体育館も行列ができますので、相当数多くしなければならぬと思います。三沢の新しいアリーナは、選手のロッカールーム、シャワー室は非常に良くできており、参考にすると思います。マエダアリーナは、入り口がほとんど雪で道が塞がれてしまうので、雪対策をしなければならぬと思います。あと、現況、会場に行く手段として、子供たちが自分の足で行けないので、公共交通機関と駐車場の整備も必要です。照明は最近どこの会場でもLEDです。水銀灯だとスイッチを入れてから時間がかかります。試合で観客席を前に出すと競技の邪魔になることもあるので、位置を計算しないとうまく観戦できないということもあります。</p>
座長	<p>続きまして、お願いいたします。</p>
スポーツ関係者	<p>共通面はあったと思いますが、卓球の場合は、空調、ライト、騒音に敏感で、市民体育館は上で競技している声そのまま聞こえ、照明が全灯ではありません。競技規定で1000ルクス以上と決まっていますが、全灯でも端の方は見えないことがあります。また、色んなスポーツと一緒に体育館を使用するので、下に競技ラインのテープが貼ってあり、はがれて子供たちの靴につくという問題も起きています。また、ボールが白いので、今は白いユニフォームが禁止されていますが、スポカルイン黒石では壁に白い広告を出して、黒い布をかけるという対応をしておりますので、壁面、床の色は工夫していただければと思います。また、現在使われているアリーナは、以前に大きい空調があり風が床に直接吹き出すので、ボールはもちろん、コートナンバーまで揺れて大変な思いをしました。冷暖房の関係では、ライトを全灯で暖房をつけるとブラックアウトするということで、寒い中で、サブは冷房状態で冬に使っています。他の施設を見ると、熊本では輻射熱を利用した冷暖房で、設置は大変ですが検討いただければと思います。また、三沢の体育館では、オーロラビジョンがありますし、私も大会で審判として全日本選手権などに参加していますが、やはり各</p>

	<p>スポーツのアピールや郷土の宣伝でも使えるので良いと思います。それから、ゴミ箱が無い体育館があり、持ち帰ってもらうのは良い試みだと思います。また、アリーナで子供たちが間違えて緊急ブザーを押したことがあったのですが、非常口が塞がっていて大変混乱しました。非常口という観点からすると、2階は左右一箇所ずつしかないので、非常に危険であると思います。またその時に、マイクが機能しませんので、非常時にマイクが別システムで使用できれば良いと思います。各種スポーツで使用するものが違いますが、卓球台が常備品になっていて、ミニ国体が青森で行われた際に市民体育館を利用したのですが、以前の青森国体の時の台なので、アリーナから運びました。多少高くても7年後の国体に向けて、卓球王国を復活させるためにも、設備などに力をいれていただければと思っています。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございました。お二人には引き続きこの会議にお付き合いをいただきたいと思います。では、次に事務局から類似施設の調査の報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>類似調査報告について、説明いたします。平成28年、29年に建設されたアリーナ2施設と、建設予定2施設です。はじめに、三沢市国際交流スポーツセンターです。スポーツを通じた国際交流を深めることを目的に整備され、固定席と可動席を合わせ、約1800席の観客席を備えています。メインアリーナでバスケットボール2面、サブアリーナで1面の広さがあり、トレーニング室、多目的室、ランニングコースなどがあります。平成29年に竣工し、バレーボールのVプレミアリーグのエキシビジョンマッチや、バスケットボールBリーグ青森ワッツの試合などが開催されており、また、周辺はアイスアリーナなども整備し、スポーツの拠点となっています。続いて、むつ市新体育館ですが、スポーツ推進拠点、地域文化交流拠点、地域資源を活かし多目的に利用できる体育館、防災・避難拠点を整備方針としております。平成32年度の竣工を予定し、固定席と可動席合わせて、約2000席の観客席を備える予定です。売店やカフェ等の民間施設を誘致し、収益を新体育館エントランスにある広場等の整備費用の一部とする予定です。続いて、草津市野村公園体育館で、地域のスポーツ実施率を高める拠点、中心市街地活性化に貢献する集客拠点、コミュニティを醸成する交流拠点、地域の安全・安心環境を高める防災拠点をコンセプトとしています。平成31年度の竣工を予定し、固定席で約2500席を備える規模となる予定です。2024年の国体、青森県で開催の1年前の国体開催に備えた施設で、バスケットボール、バレーボールを実施する予定です。最後に、松江市総合体育館は、市民のスポーツ推進、避難拠点等安心・安全なまちづくり、歴史や文化的な佇まいとの調和をコンセプトとし、固定席と可動席を合わせて、約3000席を備えた施設です。メインアリーナでバスケットボール3面、サブアリーナで2面の広さがあり、そのほか、トレーニングルーム、多目的ルーム、ランニングコースなどがあります。Bリーグの島根スサノオマジックのホームアリーナとして、昨シーズンは1部リーグの試合を開催し、固定席と可動席のほか、移動席等で5000席までの確保が可能な施設です。以上で、説明を終わります。</p>

座長	ではこれから、今のヒアリングと類似施設等を踏まえまして、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。ヒアリングや事務局からの説明に、質問がある場合は、まずご質問を先に頂いて、ご意見を賜ればと思います。特にご質問がなければご意見をそのまま頂ければと思います。それでは、よろしくをお願いします。
委員	地域の避難所として、西日本の豪雨災害は想定外でしたが、青森市の場合はねぶた期間に外国の方など多くの観光客が来ますし、想定される避難者数は莫大になると思います。津波、地震など、起こりうる災害の種別も検討し、対応を考える必要があります。防災整備の基本的要件はありますが、耐震耐火防火断熱や、マエダアリーナで障がい者のイベントを行った時、風邪を引いて苦情が多かったこともありますし、バリアフリーの体育館が良いです。天井の落下の恐れもあるので、非構造部材の耐震も考えたいです。避難所の必要な機能は、情報通信、電気、ガス、トイレで、災害時は、マンホールトイレ、多機能トイレ、携帯トイレ、簡易トイレなど様々あります。電源もLEDで、非常用の発電機は、1階に置くと津波で使えないこともあるので、2階に保管すれば良いです。あとLAN、WiFiなどのアクセスポイント、無線もあると良いと思います。食料、飲料水の備蓄倉庫も必要で、毛布、仕切り、ダンボールベッド、扇風機、ストーブ、除雪機も用意しておく必要があります。拡声器、ハンドマイク、震災の時に拡声器を何千個も船で運んで青森にプレゼントした方もいました。お年寄りや赤ちゃんは畳も必要で、柔道など畳を利用する施設もあると良いです。そして、実際に地域の方々が避難訓練することが大事です。国体に向けて、一部の施設しか持っていないので、障がい者スポーツ用具の設置、貸し出しもあれば良いと思います。また、フライングディスクやボッチャという競技は、障がい者、子ども、お年寄りが一緒になって楽しむことができ、市民の健康につながると考えますし、点字や手話のできる方で対応できる施設を目指してほしいです。市内にもパラリンピックを目指す候補選手もいるので、グローバルな体育館にして欲しいと思います。
座長	ありがとうございました。次の委員からお願いします。
委員	私からは、スポーツ関係者からのヒアリングで色々とお話した件について、青森でも取り入れることができるかどうか検討されたらいかがかなと思います。非常に使い勝手のいい施設であってほしいし、実際に使っている方が気持ちよく使えるような、そういう施設に向けて、話し合えれば良いのかなという気がいたします。
座長	ありがとうございます。次の委員をお願いします。
委員	多くの意見がありましたが、好きなだけ意見すると、膨れ上がり時間がかかりますし、予算の制約があれば意味のない話で、まずどういったもの、どれくらいの規模のものをつくるかということから確立する必要があると思います。アリーナであれば、芸術鑑賞、ライブなども必要で、収容人数としては資料にある島根の最低3000人から5000人位でないといけないと思います。また、スポーツ交流、市民の交流、経済の活性化ということで、青森市にお金が落ちていかなければ、自由に使って

	<p>生産性のない施設では、活用しにくくなると思います。短命県返上ということで、長年ワーストの青森としては、まず市民県民の習慣を変えることからスタートすることが大事であり、他県からも学ばなければならないことが多くあるので、他県の人が足を運んで皆で分かち合えるような空間にし、遊び方や施設の使い方を学ぶことも重要になってきます。仙台、札幌などの都市には、遊び方や施設の使い方に慣れている人がいますので、気軽に足を運んでいただき、そこから体を動かすことの意義を学び、それが習慣となって健康や食生活を気にかける意識改革をしていかなければと思います。ですので、まずは規模と、習慣を変えること、そしてアリーナや、屋外スポーツ、例えばフットサル、サッカー、テニスなど、需要の中で、より多くの人を取り入れることができるような、そしてお金を落とすことができるようなことを考えていくべきだと思います。そのために、青森の人たちの実生活を知って、何が必要なのかを考えることが良いと思いますが、順序としては、イメージを共有させるところからスタートすると良いと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。続きまして、次の委員からお願いいたします。</p>
委員	<p>ワッツの試合を見にマエダアリーナに、また、市民体育館の幼児体育室に行きます。冬に外で遊ぶにも限度があり、暖かい屋内で遊ばせたいのですが、市民体育館は、エントランスが暗く、また狭くて寒い。マエダアリーナは広いですが、すごく寒いので、冬場の活用を考えることが重要だと思います。特に子どもを連れていく立場だと、上の子が遊んでる時に下の子をどうするのかというところで、キッズスペース、多目的ルームなどで過ごしますが、待つ立場では、冷暖房、トイレ、多目的なルームなどを充実させることにより、スポーツする習慣を子どもの時から身につけられるのではないかと思います。私自身、子ども時代には、小学生同士でスケートにバスで行ったり、体育館に集まったりしましたが、車社会では、親が動かなければ、親に習慣がなければ、子も習慣がないのが現状だと思います。幸いにして、アリーナの予定地が中心部にあるので、ヒアリングでも意見がありましたが、公共交通、それから子ども、中学生、高校生が自分で足を運んでスポーツに親しめることが重要で、そうした面を通して機能を充実させていければと思っております。</p>
座長	<p>ありがとうございます。次の委員にお願いします。</p>
委員	<p>国体も開催されるので、何のスポーツをやるのかということが大事で、また、施設毎の住み分けをしないと膨らんでしまいます。先ほど、上から音がする話もありましたので、しっかり競技できることが第一であると思います。一方で、非常に便のいい場所にもあり、住民が参加できる立地なので、短命県の話もありましたけど、健康づくりということも非常に良いことだと思います。利用が少ないというのは青森県の特徴ではありますが、ランニングコース、特に冬は使うと思いますので、そうしたことを充実させることも大事であると思います。あとは、神奈川県が、「未病」というプロジェクトで、スマートフォンに自分のカルテの様なものを入れて、健康状態を把握する取り組みをしています。それを利用して、イベント、運動に参加し、自分の健康状</p>

	<p>態を高めることは面白いと思います。夢のような話ですけど、自分の健康状態、例えば血液データや自分の一週間の運動を記入し、体育館で操作すると、自動で運動プログラムが出てくると面白く参考になります。また、子どもが体育館にくるといのは非常に大事ですし、学習する場所があるのは非常に良いと思います。前にドイツのBMW博物館に行きましたが、子どもがバイクにまたがったりするのですが、その前に必ず学習をさせます。まず紙で自動車を作る、それが完成したら次に行く、非常に教育的で人集めにも効果があり、スポーツと一般市民が使えるところを両方考えると良いと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。次の委員、お願いします。</p>
委員	<p>人を集めること、いくらいいものをつくっても人が来なければどうにもならないという観点から考えますと、操車場跡地に駅ができて、南北を自由に歩ける道路ができて、はじめてこの構想がうまく進むのではないかと考えています。今まで操車場の話は立ち消えて、一向に進まなかったのですが、何かの形で進めることも必要だと思います。簡単に言えば、いいものをつくって、人が集まって、青森市がよくなるということ、この会議で英知を出し合いながら一致団結して、それに向かって結集しようと考えております。私自身、あすなろ国体、昭和52年に競技役員をしており、国体の持っているエネルギーを肌で感じています。</p>
座長	<p>じゃあ、次の委員をお願いします。</p>
委員	<p>皆様が全部言ってくれましたので、同じ話もあると思いますが、少し付け加えさせていただきます。多目的室ですが、私は、高齢者の方の社交ダンスとか、車椅子の方の社交ダンスとか、先ほど床材の話もありましたけど、いくら車椅子で転倒防止をつけても転倒しますので、柔らかい床材など、障がい者の利用の視点で考えて欲しいです。また、トイレの話も出ましたけど、資料の松江市総合体育館の図面では、男性より女性の方が多いように感じたのですが、もちろん障がい者のトイレも必要で、介護など多目的に使うこともあります。前に、東京の武道館に、世界的なダンスの大会で行く機会があり、2階席の男性トイレが全部女性用と紙が貼られて結局下に行くなど、あちこち回ったりしましたので、動線も考えて欲しいです。設計上、法律上は間違いではないのですが、実際に障がい者が使う時に支障があるかもしれませんので、障がい者の方の意見も聞いていただければと思っています。</p>
座長	<p>ありがとうございました。じゃあ次の方、お願いします。</p>
委員	<p>単にアリーナではなく、例えば医療機関、高齢者のリハビリ施設など、どういう機能が必要なのか考え、最終的にどういう街にするのかという都市計画づくりがまず先だと思います。周辺は公園や緑地で歩いたり走ったりできますし、健康増進も考えながら、風景や景観も考慮したランドスケープデザインもつくり、いい街にしていくことが必要です。幹線道路に面していないので、一度に1000台の車が来たら渋滞になるので、駅の設置や南北の自由通路など、交通アクセスも考える必要があると思います。例えば、5000人規模の大会があった時、特定の時間帯に人が来ると、動</p>

	<p>線計画もしっかりしないとパニックになります。土足で入れるアリーナが一般的との話がありましたが、差別化という意味で、国際大会やナショナルトレーニングセンターなどで使用している、塩ビの耐久性の高い床材のタラフレックスを使用すれば、ナショナルチーム等の誘致活動も出来ると思います。岩手県紫波町のオガールのバレーコートはタラフレックスを使用し、全日本の選手が合宿に来ます。また、函館アリーナに行ってきました、タラフレックスを使用し、大規模な大会を誘致したいということでした。函館アリーナの場合は、サブアリーナが2階にあって、1階には武道館がありますが、防音もしっかりして音が響かない工夫もしています。それから、バドミントンなど風の影響を受けやすいスポーツの場合は、最小限にくいとめる空調にすると良いです。あと、市長がコンサートも出来るアリーナという考えをお持ちなので、音響にも対応する必要があると思います。リンクステーションの音響は非常に評判が良くて、2000人や3000人規模であればここで良いので、4000人や5000人のコンサートが出来る規模で、音響をしっかり考慮して設計すると良いと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは次をお願いします。</p>
委員	<p>私は、公共交通を利用して参加できるような交通アクセスが非常に重要であると思います。また、避難場所という考え方もありますから、どの程度の広さがあれば良いかわかりませんが、ヘリコプターの離発着が出来ないものかなと思います。先ほど、まずは規模を定めてからつくっていくべきであるという話も出ましたので、スポーツだけでなく、避難所ということも考え、アリーナをつかってほしいと思います。もう一つ、後からつくるのは、なかなか出来ないことです。市民病院に関わらず、医療施設を整備すると良いと思います。また、何よりも交通アクセスは、人が集まらないと採算性の問題もあるので、建物と一緒に考えて、駅をつくらせたいと思います。何回も立ち消えになってしまいましたが、やはり駅をつくり、どこからでも来てもらうことが必要です。</p>
座長	<p>はい。ありがとうございました。それじゃあ委員の最後ですね。</p>
委員	<p>私は、専門的な知見は疎いので、市にお伺いするところも含めて発言させてもらいます。意見を全部取り入れるのは、予算の関係とか、市内各地域の問題もありますので、なんであの地域だけということにならないよう、コンセプトをまとめていかないと、市長の立場としては容易ではないと思います。伺いたいことは、次の会議までに、市民病院との関わりの中での健康的な施設機能について、現時点の市側の考えをお聞きしたいと思います。それから、二つ目として、駅の設置について、冬の公共交通などを考えると必須ではないかと思っておりますので、これについての市側の現時点でのお考えをお伺いできればと思います。三つ目として、設計の方式は、一般的にはプロポーザル方式が考えられますが、現時点での市側の方向性等を聞かせていただければと思います。</p>
座長	<p>事務方として今のお話はどうしますか。次回まで宿題とさせていただきますか。</p>

事務局	今の御質問につきましては、改めて次回に報告させていただきたいと思います。
座長	一周いたしました。もう一回スポーツ関係者の方に、それぞれ今のお話を聞いて、ご感想でも構いませんし、こういうことを本当はもうちょっと言いたいことがあれば、御発言していただければと思います。お願いいたします。
スポーツ関係者	公共交通機関というようにお話も出ていましたし、短命県返上、市民の健康増進ということで、医療機関というようにお話もありますし、そういう形で方向的にはまとまっていくのかなと思います。私は細かいアリーナの仕様にあって、不都合な点が会場にはたくさんありますので、そういう意味で、またお話できる機会があるかなと思います。今日は十分お話させていただきました。ありがとうございました。
座長	お願いいたします。
スポーツ関係者	自分のスポーツの話をするのですが、緊急にドクターヘリを要請することが大会中にあり、近くに医療機関があればと思います。先程お話がありましたが、障がい者スポーツとも関わっておりますので、色んな面で勉強させられる部分もありました。自分のスポーツの関係で言えば施設の、共用面、全てに色んなものが盛り込んでいただけるとはいいと思います。また機会がありましたら、経験した中で、少しでもお役に立てるようにしたいと思います。ありがとうございました。
座長	それぞれ別のスポーツですが、絶対に相容れないスポーツというものはあるのですか。例えば、陸上競技場をつくる際に、長いトラックと幅の広いトラックとで、陸上競技側は長めが良いが、サッカーを併用する場合は、広めが良いという議論を聞いたことがあるのですが、室内競技でもあるのですか。
スポーツ関係者	あまり感じたことはありませんが、マエダアリーナは規模が大きく、我々バスケットボールは、コートを置く場所が非常に難しくなります。きりがなくなるとは思います。全ての競技団体に受け入れられるような施設にしなければいけないかなと思います。我々だけのわがままを言っても、なかなか通らないと思っています。
座長	どうですか。
スポーツ関係者	アリーナの現状では、2階の観覧席に観戦に来ると、1階に降りてフロアに行くと土足のまま入る部分があり、ルールを決めないといけないと思います。アリーナで、何回かテレビの中継があって、床を削ってきれいになったのですが、きれいになりすぎてボールが見えにくいこと、土足で勝手に入られてゴムの跡が残ることもありました。後は、トイレの場所や会議室に行きにくいという部分はありますが、色んなスポーツと一緒に仲良く使用できれば何も言うことはありません。
座長	ありがとうございます。私もサッカーを観に行くことはありますが、正月には東京体育館に卓球を必ず毎年観にいらいますので、ひょっとしてお姿を拝見しているかもしれません。オブザーバーの方からも、一言頂きたいと思います。
オブザーバー	まず1点が、アリーナで使い勝手が良かったという事例についてです。アオーレ長岡、大田区総合体育館は、ともにメインアリーナの面積は大きくないですが、選手の評判で使い勝手が良かったということ、さきほどの話で伺いました。例えばコート

	と客席が近いことや、アオーレ長岡は一体的に使えるスペースがあることなどが考えられますが、両方とも駅から近いことも要因で、どういった条件で使い勝手が良くなるのか皆様と一緒に考えていければと思います。もう1点が、全てのご要望に応えるのは、なかなか難しいということで、マエダアリーナと市民体育館の役割分担をどう考えるか、このアリーナで何を目標とし、それを達成するためのハード・ソフトのスペックも詰めていく必要があると思います。維持管理費も発生しますので、負担を軽くしつつ、活用方法を含めて考えていければと思います。よろしくをお願いします。
座長	今のアオーレや大田区の体育館は、どこが良かったのですか。
スポーツ関係者	アオーレ長岡は、駅から雨に濡れず体育館に行けるという動線で、周辺にホテル、公共の施設が一体化されています。また、バスケット、バレーボールなど、様々なスポーツを観れる観客席になっています。アリーナに隣接するホールがあり、スポーツ観戦だけでなく、様々な催し物でお客様を誘致できるようになって、総合的に良いと思います。大田区の体育館は、すり鉢型で非常に観やすくなっております。
座長	次、お願いいたします。
オブザーバー	規模感を共有した方が良いということでしたが、プロジェクトが立ち上がってはじめに考えておりました。これから各種団体のヒアリングがあると思いますが、全てを飲み込めないのは現実で、どこを目指すのか最初からイメージしていないと収集がつかないと思います。やはり青森市内につくる施設ということで、既存の体育館、サンドーム、県営スケート場など、ロケーションも近いものがありますし、幹線道路に面している、鉄道が無い、大会があったときに交通アクセスはどうであったかをレビューすると、全体的な整理やイメージもしやすいと思います。
座長	それでは皆様の意見を整理したいと思います。全ての意見を取り入れるのは大変ですので、意見をチェックリストとして、採用するか否かも含め答えを用意しないとイケないと思います。エリア外の話もありましたが、アリーナに関連する機能、交通、医療、屋外型スポーツ施設を置くか否かなど、最終的に用途を絞る際に苦労するかもしれません。ヘリコプターは、医療用と災害用とでスペックが違うこともあり、都市計画を含めた課題もあると思います。アリーナについては規模、スポーツ以外の用途、防災機能、子供が遊べる機能、ランニングコース、空調、照明、床材等様々ありましたが、用途と機能を表裏一体で考えないとイケません。体育館は使用する側と管理する側がいて、スペックと平面の事例のほか、運用事例も必要だと思います。お金と時間がかかることは承知していますが、チェックリストをもって、体育館がどういった使い方をされているか、周辺、管理費用、マネジメントなど足を運んで見て、それを踏まえチェックリストにお答えすることが必要だと思います。設計段階で、チェックがどこまで行われているかが、結果に繋がるのではないかと思います。事務局で検討していただきたいということが、私からの意見です。